

## 歯科技工所内の除菌対策等について (Covid-19)

第二地区 ㈱アトキンス 取締役会長 小笠原明弘

まず、今年1月13日の時点で何かが、起きているという SNS 情報で、これは普通じゃないというのを感じ、「バイオサニタイザー」に注目しメーカーの方にお聞きした。また**新型コロナウイルス**ということで、できる限りの情報を集めてみた。その日のうちに「バイオサニタイザー」がなぜ「SHOFU」という歯科メーカーが販売しているのか、そして歯科技工所にとっても、重要な意味を持つことが理解でき、発注したのがよかったが、その後には欠品した。宣伝ではなく一人でもこの性質の意味を理解していただければと思い投稿いたします。

\* 除菌液「バイオサニタイザー」の特徴

\* <https://www.shofu.co.jp/product1/contents/hp1951/index.php?No=1752&CNo=1951>  
ジデシルジモニウムクロリド、塩化ベンザルコニウム、ポリヘキサメチレンピグアニド、ジメチコン、を成分とする、「バイオトロール」は、イギリス **Byotrol 社** <http://byotrol.jp>が開発した除菌・抗菌技術である。

強力な**除菌力**があり、約5分くらいで乾燥後、長時間持続する**バリア**を形成し、やがて**生分解**される性質がある、そのためほとんど**環境**に害を及ぼさない。生体への**毒性**が少なく、**ペットの消臭剤**としても使われている。アルコール不使用で、毎日毎日使うわりには**手荒れ**はしない、**口腔内**に入っても副作用、毒性が低い、そのため**マスク表面**にしっかりスプレーすることで**バリア**を作ることができる。注意点は、膜を張るため魚など**エラ呼吸**する動物は呼吸ができなくなる。これはスプレー時に水槽の上に何かをかぶせればよい。

そして、対象細菌によって薬剤を変えることもなく、**コストパフォーマンス**もよい、アルコールなどには無かった、バリアタイプの「**持続可能な**」抗菌・除菌・抗ウイルスが望める。空気中で**3~4時間浮遊**する性質があることが分かった **Covid-19** には、部屋中すべての**空間へのスプレー散布**で対処する、これで**数日から1週間**あらゆるものにバリアが張る。そこからが凄い、簡単に言うと、散布したバイオトロールにウイルスが引き付けられ、バイオトロールの粒子に**針**のような表面性状があり細菌やウイルスが**物理的に分解**される。付着菌はもちろん、浮遊・落下菌やウイルスに対しても一度の接触で物理的にも除菌効果を持つ。これがバイオトロールの技術である。もちろん、**アルコール除菌**、**次亜塩素酸**、も強力な効果がある。そのため、㈱アトキンスでは、まず、模型を受け取った場合、**玄関の外**で、ケース、模型、印象、バイト、指示書、などをバイオサニタイザーで除菌する、もちろん玄関には**カギ**がかけてあり、社内に入る**人、物、衣服**、すべて除菌してからでないとい入れない。社内での**グローブ**、**マスク**は全員当たり前である。印象のままいただいたものは、まず、塩素系除菌剤「**アグサ T-B-S 錠**」

<https://www.agasa.co.jp/Disinfection/img/tbs.pdf>

溶液中で除菌から始まる、水 1ℓに 1 錠で原液を作る（有効塩素濃度 1000PPM、pH5.5 微酸性）。この原液で石膏を練和する。石膏模型でいただいたものは、原液に 10 分浸漬する⑩、他にも、印象材の固定・除菌には、次亜塩素酸系の「インプロステリンプラス」「ラブラック D」などは古くから使用しています。

製作された補綴物は、開業当初より滅菌パックに密封して光殺菌。患者様の口腔内にセットされる歯科補綴物ですから、安心安全のためには当然と考え長い間やってきています、それでも、今回の Covid-19 は大変多くの作業工程がある歯科技工には、作業後の全室除菌という仕事の負担が増えました。そのため、役員は早朝出勤し除菌作業することにしました。そして分業化を見直し、スタッフが少しでも早く終業（17 時）できるよう、また仕事の状態でどんどん休業できるよう見直すいい機会になりました。また、栄養バランスを見直し、免疫効果を高めるという根本的な改革にも取り組んで健康な体で健全な補綴物を作り上げるという毎週の勉強会も開催しております。